第154号
（発行所）
真宗大谷派
松岡山 廣讃寺
中村区城屋敷町3-30
TEL(052)411-5301
FAX(052)411-5341
携帯 090-1568-4623
〈E-mail〉
matsuoka@kosanji.or.jp

新　年

お正月ですと「おめでとうございます」という言葉が自然と出てくるものですが、コロナ禍においてはどうなのでしょう。時代とともにお正月という意識が薄れてきてはいましたが、今年は気持ち的にもメリハリがなく年末から年明けを迎え、ただ普通の日々を送るのでしょうか。

昨年は一年コロナのせいであっという間だった、という言葉をよく耳にしましたが、今年も自粛の中であっという間に終わってしまうのでしょうか。

例年ですと何か明るい文章をと思いながら書くのですが、今回はそんな気にもなれず、新年を迎えることができてよかった、という感動を受けることができません。しかし時代がどうであれ、生かさせていただいているということの有難さを思えば、「おめでとうございます」という言葉が出てくるのでしょう。コロナで日々の有難さの実感も失わないように気を付けたいものです。

同級生の言葉

まだ二十代の頃、早く歳をとって死にたいと言っていた同級生がいました。これから先、幾多の苦難を乗り越えなければならない、そんなことを考えているとこの人生を早く卒業したいと思っていたようです。老けたくないし死にたくもないと思っている私はその同級生の言葉に非常に驚き、今でもふっとその言葉を聞いた場面が思い出されます。

コロナが落ち着くまでは何年もかかるといいます。早くコロナが終わってほしいと思う一方で、コロナが落ち着いたときに自分は何歳になっているのだろうと想像すると何ともむなしい気持ちが起こります。早くコロナが落ち着いてほしいが歳はとりたくないと思うわけです。何とも矛盾しております。そこで同級生の言葉を思い出すのです。何年もかかるであろうコロナの苦難を早く終わらせたいが、コロナの苦難がやわらいだ時には今より「死」に数年近づいていることになります。同級生の言葉に驚いていましたが実は私も同じように考えるのだなと思いました。

別れ

最近はコロナのせいもあり少人数で勤められることが多くなった法事。コロナ前だと例えば、亡くなられた人の子や孫、兄弟、いとこ、おい、めいなどが集まるところが多かったです。親戚が集まる機会は年々少なくなってきましたが、法事では亡くなられた人をご縁に縁者が集まりお斎の時にはお酒を飲みながら思い出話や近況報告などをしたものです。三回忌の時に元気にいた人も七回忌の時には亡くなっていたということも少なくありません。その時その時の法事は親戚が二度と集まることができない大事な場となります。

先日、部屋を片付けていると、十年前に行われた祖父の二十三回忌の時の写真が出てきました。そこでの集合写真。にこにこ笑っている叔父さんも亡くなりました、このおばさんは今では病で動けないなど。もうこの時のように集まることはできません。

今、コロナでさらに親戚が集まることが難しくなりました。十年前のこの二十三回忌は親戚が集まるラストチャンスだったと思います。この写真を撮影した時はそんなことも考えず、また今度また会えるだろうなんて思っていましたが、今度というのはないのだなと実感しました。今その時に出会っている人とはもうこれで出会えないかもしれないと考えると、人と会うことの有り難さを感じます。

コロナで人との出会いが少なくなる今、その少ない機会を大切にしていきたいものです。

令和三年（2021年）年忌表

年回	年回にあたる没年
一周忌	令和2年（2020年）
三回忌	平成31年・令和元年（2019年）
七回忌	平成27年（2015年）
十三回忌	平成21年（2009年）
十七回忌	平成17年（2005年）
二十三回忌	平成11年（1999年）
二十七回忌	平成7年（1995年）
三十三回忌	平成元年（1989年）
三十七回忌	昭和60年（1985年）
四十三回忌	昭和54年（1979年）
四十七回忌	昭和50年（1975年）
五十回忌	昭和47年（1972年）

例年ですと一月号には今年一年の行事予定を載せておりました。しかし今年もコロナ感染症の影響でどのようになるか予測できないので掲載をやめました。

昨年の行事（春・秋彼岸、復興永代経、報恩講）はすべて内勤めで十数名にてお勤めしました。毎月二十八日も十数名で勤めました。今年も昨年同様になるのかわかりません。コロナが早く終息して、みんな一同集まり本堂に安心してお勤めできる日が来ることを願います。

行事予定

十二月三十一日　除夜の鐘は甘酒の振る舞いはありません。本堂の中には入れません。

※状況によっては、中止することもございます。

一月一日　修正会は十時からお勤めをいたしますが本堂に入ることはできませんので本堂外でお参りください。なお、できましたら時差参拝のご協力お願いいたします。

20組 行事予定

ご命日のつどいの新年会は今年は中止です。